

ロジスティクス環境会議
第2回共通基盤整備委員会

2004年3月15日(月)15:00~17:00
(社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

次 第

1. 開 会
2. 第1回委員会の意見の整理
3. 議 事
 - 1) 共通基盤整備委員会の活動内容について
 - 2) その他
4. 閉 会

【配布資料】

- 資料1 : 第1回委員会の意見の整理
- 資料2 : 共通基盤整備委員会の活動概要(案)
- 参考資料1 : 第1回委員会議事録
- 参考資料2 : 広報・普及専門委員会の活動概要(案)
- 参考資料3 - 1 : 各委員会の活動概要
- 参考資料3 - 2 : 各委員会の共通課題
- 参考資料4 - 1 : 用語集作成の問題点
- 参考資料4 - 2 : 環境用語集
- 参考資料4 - 3 : 用語集文献洗い出しリスト
- 参考資料5 : 規制とインセンティブ

以 上

第 1 回委員会における意見の整理

第 1 回委員会にてご議論いただいた論点を整理したうえで、第 2 回委員会にてご検討いただき、確認いただきたいことを以下のとおり整理した。

1. 第 1 回委員会における意見の整理

1) 活動方針に関わること

- ・環境会議及び各委員会の円滑かつ効果的な活動を支える共通的な「情報資源」の整備および公開

2) 活動内容に関すること

(1)用語集作成について

- ・委員会の役割

例) 物流学界等で検討された結果に対する検証と確認

- ・用語集の検討、作成プロセス

例) 物流学界 共通基盤整備委員会 環境会議

定義の対象用語の選定、タイミング、定義の決定(委員会外への公開)方法

- ・用語集の公開の範囲や対象

例) 共通基盤整備委員会 環境会議 J I L S 会員 一般公開

(2)法令、条例の整理について

- ・枠組み(範囲、深さ、対象等)についての検討

(3)各社の環境活動の評価について

- ・活動の定量化、評価基準等の整理と標準化についての検討

環境パフォーマンス評価手法検討委員会にて検討

- ・L E M S マニュアル(チェックリスト)による取組み活動の数の評価は可能

3) アウトプットに関すること

- ・用語集
- ・法令、条例のデータ集(リンク集、データベース)
- ・その他

2. 第 2 回委員会の議事を進めるにあたって

まずは基本的な委員会の方向性として、活動方針、活動内容、アウトプット(成果)を確認したうえで、具体的な課題やステップ等の方法論に関する議論をしていきたい。

以 上

共通基盤整備委員会の活動概要(案)

1. 活動方針

環境会議及び各委員会の円滑かつ効果的な活動を支える共通的な「情報資源」を整備し、アウトプットは原則として全て公開する。

2. 活動内容

- 1) 物流・ロジスティクスの視点から、既存の用語集等には抜けている環境に関する用語を収集し、用語集として整備する。
- 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等の情報を収集、整備する。
 - ・行政、自治体の法制度や規制値、条例、目標値および各種インセンティブ等
 - ・企業の環境報告書（ホームページ・印刷物）
 - ・学界、団体、大学、自治体の研究
 - ・環境に関する書籍
- 3) 企業の環境報告書に対し、物流、ロジスティクスの視点から、どのような記載をすれば良いか検討し、推奨例をまとめる。
- 4) 環境に関する国際動向の調査を行う。
調査団の派遣なども検討
- 5) 先端技術等の動向を把握し、委員会横断的なセミナーや勉強会を開催する。
- 6) その他

3. アウトプット(成果)

- 1) 環境に関する用語集（物流・ロジスティクスの視点から見た環境用語集）
- 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等のリンク集（データベース）
- 3) 環境に関する国際動向の報告書
- 4) 企業の環境報告書に対するガイドライン
物流、ロジスティクスの視点から、どのような記載をすれば良いか、推奨例を提示する。
各委員会横断的かつ内容に関する確認と調整が必要となるため、取りまとめ等の主体となる専門的な委員会等の設置を委員長ミーティング、企画運営委員会等にて検討。
- 5) その他

4. 目標

- 1) 環境に関する用語集の作成と公開・・・2004年4月より適宜公開
- 2) 行政、産業界、学界、団体、自治体の情報収集と公開・・・2004年7月より適宜公開
先端技術等の動向を把握し、委員会横断的な勉強会を開催する。
- 3) 環境に関する国際動向の収集と公開・・・適宜実施

共通基盤整備委員会の活動概要(案)

1. 活動方針

環境会議及び各委員会の円滑かつ効果的な活動を支える共通的な「情報資源」を整備し、アウトプットは原則として全て公開する。

2. 活動内容

- 1) 物流・ロジスティクスの視点から、既存の用語集等には抜けている環境に関する用語を収集し、用語集として整備する。
- 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等の情報を収集、整備する。
 - ・行政、自治体の法制度や規制値、条例、目標値および各種インセンティブ等
 - ・企業の環境報告書（ホームページ・印刷物）
 - ・学界、団体、大学、自治体の研究
 - ・環境に関する書籍
- ~~3) 企業の環境報告書に対し、物流・ロジスティクスの視点から、どのような記載をすれば良いか検討し、推奨例をまとめる。 パフォーマンス委員会へ~~
- ~~4) 環境に関する国際動向の調査を行う。 調査団の派遣なども検討~~
- 3) 環境に関する国際動向（行政、自治体、企業の先進事例等）の調査を行う。
 - ・環境対応の先進諸国や日本企業が進出している中国等についても、大使館や日本の出先機関等から情報を収集、整理した後、海外調査団等による調査を検討
 - J I L S主催の訪欧・米調査団のミッションに上記内容を盛り込むことも検討
- 4) 先端技術等の動向を把握し、委員会横断的なセミナーや勉強会を開催する。
- 5) その他

3. アウトプット(成果)

- 1) 環境に関する用語集（物流・ロジスティクスの視点から見た環境用語集）
- 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等のリンク集（データベース）
- ~~3) 環境に関する国際動向の報告書~~
- ~~4) 企業の環境報告書に対するガイドライン 物流・ロジスティクスの視点から、どのような記載をすれば良いか、推奨例を提示する。 各委員会横断的かつ内容に関する確認と調整が必要となるため、取りまとめ等の主体となる専門的な委員会等の設置を委員長ミーティング、企画運営委員会等にて検討。~~
- 5) その他

4. 目標

- 1) 環境に関する用語集の作成と公開・・・2004年4月より適宜公開
- 2) 行政、産業界、学界、団体、自治体の情報収集と公開・・・2004年7月より適宜公開
先端技術等の動向を把握し、委員会横断的な勉強会を開催する。
- 3) 環境に関する国際動向の調査・・・適宜実施

以上

ロジスティクス環境会議

第 1 回共通基盤整備委員会 議事録

・ 日 時：2004年2月3日(月) 15:00～17:00

・ 場 所：東京・港区 (社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

・ 出席者：15名

・ 議 案：

- 1) 共通基盤整備委員会の活動内容について
- 2) その他

・ 開 会

定刻、徳田事務局長により、開会が宣された。

・ 主催者挨拶

稲束専務理事より、会議の設立経緯ならびに設立趣旨と本会議の活動の中で、各メンバー間の合意形成のもとに、サプライチェーン、更にはリバースチェーンの最適化を支えるロジスティクスの概念、方向性、役割が明確となり、今後の社会、経済活動の中で有益な指針に繋がる提言や企業活動の中で役立つツール等が成果として作成されることを期待する。また、約3年の委員会活動で成果を出すためには、継続性のある議論を行うことが必要であり、委員会の出席メンバーは可能な限り同じ方々に参加いただきたい旨の挨拶が行われた。

・ 委員紹介

津久井委員長、堀口副委員長、下村副委員長の挨拶に引続き、各委員より自己紹介がなされた。

・ 設立後の経過報告について

- 1) ロジスティクス環境会議の概要について【資料1-1、資料1-2】

事務局より、資料1-1に基づき、ロジスティクス環境会議の設立経緯、資料1-2に基づき、ロジスティクス環境会議の概要と運営体制について説明が行われた後、確認がなされた。

- 2) ロジスティクス環境会議設立後の経過報告について

【資料2-1、資料2-2、資料3】

事務局より、資料2-1に基づき、ロジスティクス環境会議設立(2003年11月13日)後の企画運営委員会の開催および第1回企画運営委員会の議論に基づき行われた、各委員会の正副委員長ミーティングの開催経過の報告が行われた。また、資料2-2に基づき、第1期(2003年11月～2006年3月)に議題(合意形成)としたい項目と内容(例示)について説明が行われ、各委員会ならびに全メンバーが環境会議全体としての方針、アウトプット(成果)、目標等について認識を共有したうえで、今後の具体的な活動を推進したい旨の説明が行われた。

引続き、事務局より、資料3に基づき、環境会議の全メンバーに対して行われた、問題抽出アンケートの結果の報告が行われた。

・議事の経過

1. 議 事

津久井委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 共通基盤整備委員会の活動内容について【資料3】

津久井委員長より、当委員会は各委員会の活動を支える役割を担っている。先ず、ロジスティクスの環境活動に関連する用語の整備をしていきたい。用語については、物流学界を通じてJILSの助成金を活用し、既に対象となる用語のピックアップも始めている。JILSのホームページを活用する予定であり、3月にはデモが出来るような状態にしたい。また、物流企業が環境報告書を積極的に発行できるようにガイドラインの作成等も当委員会の活動として行っていきたい。是非、各メンバーにご尽力いただきたい旨の依頼がなされた後、資料3に基づき、正副委員長ミーティングの検討内容と委員会の議題と(合意形成)したい項目について説明がなされ、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

【委員】企業の環境報告書については、JILSで揃えて欲しい。また、関連団体等から出されている報告書や文献等も併せてJILSで閲覧できるようにして欲しい。

【委員】用語をまとめる際、当委員会だけで対応するのは難しいのではないか。

【委員】同じ用語を定義する際、荷主企業と物流企業の立場で論点が異なる場合もある可能性もある。津久井委員長を中心とした今回の用語集作成の研究は、用語を定義していくプロセスに着目している。

【委員】環境負荷を低減するための活動を熱心に行っている企業等に対して、環境報告書等を活用し、評価する仕組みが必要ではないか。

【事務局】環境パフォーマンスが整備されれば、企業等の環境活動を評価することも出来るのではないか。

【委員】当委員会の活動としては、先ずは用語の整備を行いながら、当委員会の活動の方向性を議論してもよいのではないか。

【事務局】法令、条例等のデータを収集し、整備することも当委員会の重要な活動ではないか。

【委員】環境活動というと、ものづくりの視点が強いが、物流企業としての活動の意義や活動内容に関わるヒントを吸収していきたい。

【委員】用語は難しい表現が多いため、なるべく優しい表現で作成して欲しい。

以上のような意見交換が行われた後、津久井委員長より、次回委員会にて、当委員会としての活動の方向性を確認していきたい旨の確認がなされた。

2) その他

今後のスケジュールについて

第2回委員会は、次のとおり開催することが確認された。

日時：2004年3月15日(月) 15:00～17:00

会場：(社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

2. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、津久井委員長は閉会を宣した。

以 上

広報・普及専門委員会の活動概要（案）

1. 方針

ロジスティクス環境会議の各委員会の活動経過、成果等を当会議メンバーおよびJILS会員、さらには広く産業界、行政、団体等に対して啓発および普及するための情報発信を行う。

2. 活動

1) 情報発信と共有

(1) ジャーナル（ニュースレター）の企画

本会議をはじめ、各委員会の活動経過、成果等を以下のような媒体に取りまとめ、情報発信を行う。

CGLニュース（電子媒体）

- ・速報的内容とし、2ヶ月1回発行

CGLジャーナル（紙媒体、電子媒体の内容の統合版）

- ・各委員会の活動状況を集約し、4ヶ月1回発行
- ・JILS機関誌『ロジスティクスシステム』にも活動の経過を掲載
ホームページを積極的に活用する。

(2) シンポジウム、フォーラム等のイベントの企画

各委員会の活動成果等を広く情報発信するため年1回程度、シンポジウムやフォーラム等のイベントを企画する。

2) 情報連携と提案

(1) オブザーバー会議の企画

オブザーバーである各省庁との情報交換による連携推進および関係省庁に対する提言活動を推進するため、オブザーバー会議を企画する。

参加メンバーは、原則として企画運営委員を中心とする。

(2) 関連団体会議の企画

関連団体との情報交換による連携推進および関連団体に対する提言活動を推進するため、関連団体会議を企画する。

参加メンバーは、原則として企画運営委員を中心とする。

3) その他

以上

環境会議の目的、目標と各委員会の活動概要について

1. 環境会議の方針

- 1) 目的：循環型社会を実現するロジスティクスの構築 ～個人が変わる、企業が変わる、物流が変わる～
 2) 目標：行政・自治体・大学等の研究機関・関連団体との連携を図りながら、環境と調和したロジスティクス方針・活動を通じて、循環型社会を実現するロジスティクスの構築に取り組む企業を増やす。

2. 各委員会の活動方針と成果

	活動方針 各委員会との共通課題	活動	成果（アウトプット）	特記事項
1) 環境パフォーマンス評価手法検討委員会 事務局修正原案	1) ロジスティクス活動の環境負荷を定量的に把握、評価し、環境負荷を低減するため、荷主企業と物流企業等が相互に連携し、標準的な環境パフォーマンスを整備する。 2) 標準的な環境パフォーマンスを広く公開し、関係者に提案する。モデルとしてのロジスティクス・ビジネスフロー図の作成 企業の環境報告書に対するガイドラインの作成	1) 標準的な環境パフォーマンスをつくり出すための枠組み(算定、評価の範囲等)を設計する。 2) 標準的な環境パフォーマンスの枠組み(算定、評価の範囲等)に基づき、環境パフォーマンスを算定および評価し、環境負荷を低減していくマニュアル等のツールを整備する。 3) 標準的な環境パフォーマンスの枠組み(算定、評価の範囲等)に基づき算定されたデータを収集し、整備する。	1) 標準的な環境パフォーマンス評価方法の活用例の作成 2) マニュアルの作成 3) 環境パフォーマンスのデータ集 4) 提言	第2回委員会後、修正案を作成し、メールにてメンバーに確認。
2) 源流管理による環境改善委員会	1) 循環型社会に対応する企業の社会的責任として、企業間に渡るロジスティクスの視点から荷主企業の物流・ロジスティクス部門、物流企業として実施すべき事項を検討し、合意形成を図る。 2) 合意された内容はマニュアル形式にまとめ、広く公開し、関係者の環境活動を支援する。 モデルとしてのロジスティクス・ビジネスフロー図の作成	1) 当委員会メンバーの構成を考慮し、当委員会では、物流が直接的に影響する部分（テーマ）に焦点をあてた活動を行う。 2) 荷主企業(製造業、流通業等)の物流・ロジスティクス部門、物流企業がやるべき事、および当委員会メンバー以外の企画・設計部門等に対し、製品プロセスを最適化するロジスティクスの視点から関係者に対して提案を行う。 3) 各主体間で留意すべき事項をまとめ、情報発信していく。	1) マニュアルの作成 (1)各企業が守るべきこと(法令、条例遵守事項) (2)各企業がやるべきこと及び対策(荷主企業における対他部門) (3)物流企業(運送業・倉庫業等)から荷主企業(製造業・流通業等)に提案すべき、物流サービス(環境負荷低減等) (4)主体間の留意すべきこと 2) 提言の作成	分科会による運営を検討中。
3) 省資源ロジスティクス推進委員会	1) 省資源・省エネルギーの視点から、サプライチェーンを構成する製造業・流通業・物流業等が一体となって物流の環境負荷を低減するため、物流諸活動の事例収集を行い、その結課を関係者に公開する。 2) 課題解決のための方向性をまとめ、関係者に提案する。 省庁・自治体に対する提言の作成	1) 企業(間)の各種物流施策の事例集の作成 2) ガイドラインの作成 (1)複数企業間、業際間の各種物流施策に対する課題の整理 (2)省資源ロジスティクスを推進するための方針のまとめ (3)物流施策別の評価手法の作成(コスト・時間に環境のパラメータを加える) 3) 提言の作成	1) 企業(間)の各種物流施策の事例集 2) ガイドライン 3) 提言	分科会を構成し、活動を行う。業種を切り口にしたグループ構成を正副委員長間で検討中。
4) リバースロジスティクス調査委員会	1) ロジスティクスの視点から、今後本格的に必要とされるリユース、リサイクルに関わる物流のあるべき姿を描くために調査活動を行い、その結果を公開する。 2) 消費者における還流管理の促進を含め、リバースロジスティクスの構築が可能となる環境整備を促進するため、関係者に対して提案を行う。 省庁・自治体に対する提言の作成	1) 調査報告書の作成 2) ガイドラインの作成 3) 提言の作成 4) メンバー各社の環境報告書による事例研究等の勉強会やメンバー各社、自治体活動の現場見学会の実施	1) 調査報告書 2) ガイドライン 3) 提言	・廃棄物等の関係で行政に対する意見が多い。 ・業種を切り口にした分科会による活動を検討。
5) 共通基盤整備委員会	環境会議及び各委員会の円滑かつ効果的な活動を支える共通的な「情報資源」を整備し、アウトプットは原則全て公開する。 企業の環境報告書に対するガイドラインの作成	1) 物流・ロジスティクスの視点から、既存の用語集等には抜けている環境に関する用語を収集し、用語集として整備する。 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等の情報を収集、整備する。 3) 企業の環境報告書に対し、物流、ロジスティクスの視点から、どのような記載をすれば良いか検討し、推奨例をまとめる。 4) 環境に関する国際動向の調査を行う。 5) 先端技術等の動向を把握し、委員会横断的なセミナーや勉強会を開催する。	1) 環境に関する用語集 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等のリンク集 3) 環境に関する国際動向の報告書 4) 企業の環境報告書に対するガイドライン	

各委員会の共通課題

1. モデルとしてのロジスティクス・ビジネスフロー図の作成 参考資料 3 - 3

1) 環境パフォーマンス評価手法検討委員会

委員会の中で具体的な議論を進めるに当たり、物流活動の業務モデル図が必要であり、他委員会でも共通のツールになるので作成すべきである。

2) 源流管理による環境改善委員会

物流マップ（モデル図）があると、議論する際に焦点が明確になるため、作成したい。

2. 企業の環境報告書に対するガイドラインの作成

1) 環境パフォーマンス評価手法検討委員会

環境報告書におけるロジスティクスの項目が不明確である。経営におけるロジスティクスの位置付けが低く見られるため、ロジスティクスの役割が正しく伝わるフォーマットを関係者に提示すべきである。

2) 共通基盤整備委員会

物流、ロジスティクスの視点から、環境報告書をどのように記載をすればよいか、ガイドライン等を作成し、推奨例を提示すべきではないか。

3. 省庁・自治体に対する提言の作成

1) 省資源ロジスティクス推進委員会

アンケート結果の問題点にもあるように、共同物流を進めようとする、独占禁止法の問題にあたり、活動が制約されるケースがあるため、現状を調査したうえで、関係省庁に提言を行うべきである。

これまで、各省庁で物流に関する様々な施策が行われており、成功しているとは言えないものがあるため、その原因調査も行っても良いのではないか。

2) リバースロジスティクス調査委員会

共同物流を進めようとする、廃棄物処理法や独占禁止法等の問題にあたり、活動が制約されるケースがあるため、現状を調査したうえで、関係省庁に提言を行うべきである。

4. 各委員会の円滑な運営と情報共有化の推進

1) 源流管理による環境改善委員会

各委員会の活動が見えるような仕組みが必要であり、気軽に意見を言える環境を整備して欲しい。

委員会の人数も多い為、委員会の運営としては、2つの分科会を構成することも必要ではないか。但し、分科会のテーマ、切り口を改めて検討する必要がある。

共通基盤整備委員会を除き、各委員会でも検討された。

2) 共通基盤整備委員会

時代の流れは、環境対応からCSRへと向かっている。環境会議もCSRを視野に入れながら、活動を行うべきではないか。

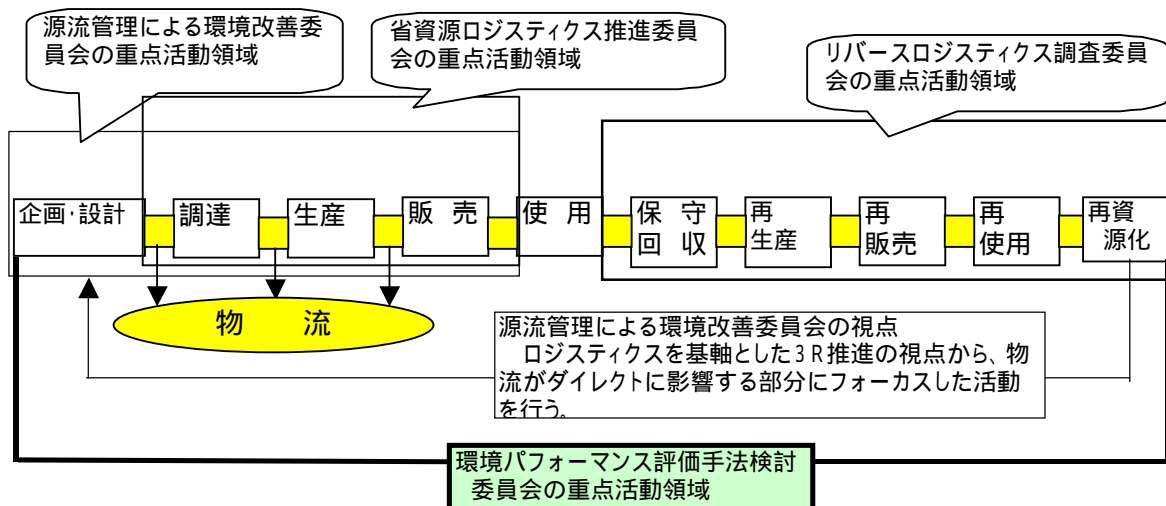
環境会議から情報発信するものは、電子メールやWEBを最大限に活用すべきである。

以上

モデルとしてのロジスティクス・ビジネスフロー図の作成（案）

1. はじめに

各委員会より、業種等も異なるメンバーの方々が議論を行う際、その議論している内容の範囲や視点を明らかにするためにも、グランドデザイン図を具体的にモデル化したフロー図の作成が要望として挙がっている。



2. 作成メンバー

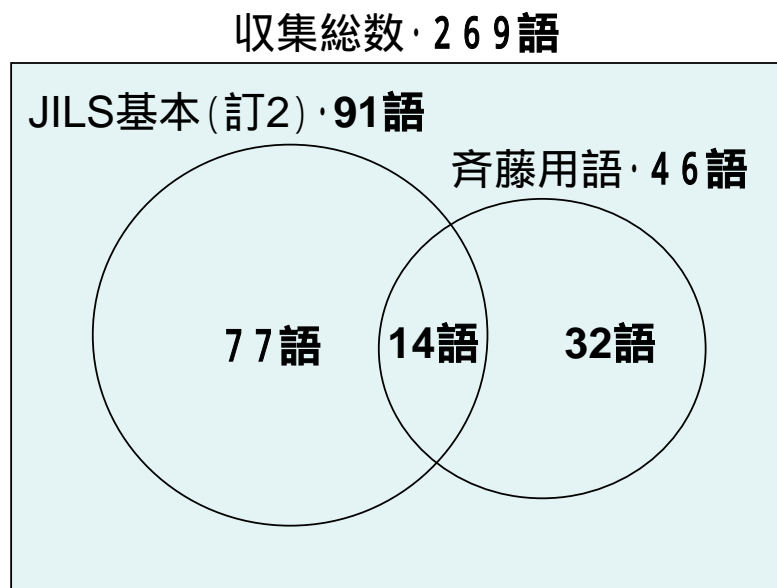
増井先生を中心とした学識経験者、フロー図作成の専門家等で構成する。
モデルに関するヒアリング等は、環境会議メンバーに協力要請する予定

3. ステップ

- 1) ビジネスフロー版
2004年11月頃までに作成予定
- 2) 業務フロー版
2006年3月頃までに作成予定

以上

「環境に関する用語集」を作成するに当たっての問題点



特徴1) 常時更新する

時間経過による新語の発生

(例)ロードプライシング

アイドリングストップ

スピードリミター

特徴2) 誰でもが執筆に参加可能

立場が違くと語意や解釈が異なってくる。

用語	書名(出典)	ふりかな	同義語	英文
3E物流	基本(2訂)	3E		
3R		3R		
CDM		CDM	グリーン開発メカニズム	
CLM	基本(2訂)	CLM	アメリカロジスティクス管理協議会	
CNG	齋藤用語	CNG	圧縮天然ガス	
CO2		CO2	二酸化炭素	carbon dioxide
CO2排出権		CO2		
COP3	基本(2訂)、齋藤用語	COP3	気候変動枠組み条約第三条締約国会議	
COP6		COP6	気候変動枠組み条約第三条締約国会議	
DEP		環境白書 DEP	ディーゼル排気粒子	
DFI		環境白書 DFI		
DPF	齋藤用語	DPF		
EPMS		環境白書 EPMS	交通公害低減システム	
ETC		ETC		
FCEV	基本(2訂)	FCEV		
IPCC	基本(2訂)、齋藤用語	IPCC		
ISO14000	基本(2訂)、齋藤用語	ISO		
JI		JI	共同実施	
LNG自動車	齋藤用語	LNG		
LPGトラック	齋藤用語	LNG		
NOX	齋藤用語	NOX	窒素酸化物	
NOX削減法	齋藤用語	NOX		
PCB廃棄物		環境白書 PCB		
PLC		PLC	プロダクト・ライフサイクル	
PM2.5	齋藤用語	PM25		
PPP	基本(2訂)	PPP	汚染者負担の原則	polluter pays principle
SOX		環境白書 SOX	硫黄酸化物	
SPM	基本(2訂)、齋藤用語	SPM		
VICS	環境白書	VICS	道路交通情報通行システム	
アイドリングストップ	齋藤用語	環境白書 あいど		idling stop
圧縮天然ガス自動車	齋藤用語	あっし	CNG自動車	
アメリカロジスティクス管理協議会	基本(2訂)	あめり	CLM	Council of Logistics Management
アライアンス		あらい		
安全	基本(2訂)	あんぜ		
硫黄酸化物		環境白書 いおう	SOX	sulfur oxides
一括集荷	基本(2訂)	いっか		

一貫バレチゼーション	基本(2訂)		いっか	
一般廃棄物		齋藤用語	いっば	municipal waste
インバース/エンジニアリング	基本(2訂)		いんば 逆工程	
インバース・マニファクチャリング			いんば 逆工場	inverse manufacturing
埋め立て処分			うめた	
エコカー			エコカ	eco-car
エコステーション		環境白書	エコす	
エコドライブ	基本(2訂)	環境白書	エコど	ecological drive
エコバランス	基本(2訂)		エコば ライフサイクル・アセスメント	
エコポート			エコぽ	eco-port
エコマーク	基本(2訂)		エコま	eco - mark
エコマーク認定商品		環境白書	エコま	
エコマテリアル			エコま	eco-materials
エコラベル			エコら	eco-label
エコロジカル・マーケティング	基本(2訂)		エコろ グリーンマーケティング	
エコロジカル・リュックスック		環境白書	エコろ	eco-ruksack
エネルギー課税			えねる	
大阪港フェニックス計画		環境白書	おおさ	
汚染者負担の原則	基本(2訂)		おせん PPP	polluter pays principle
折畳みコンテナ	基本(2訂)		おりた	
折畳み容器	基本(2訂)		おりた	
温室効果ガス			おんし 温暖化ガス	greenhouse effect gas
カーシェアリング		環境白書	カーし	
回収	基本(2訂)		かいし	recovery, recycle
回収業者			かいし	
改正リサイクル法			かいせ 資源有効利用促進法	
海洋汚染			かいよ	marine pollution
海洋投棄			かいよ	ocean dumping
帰り荷幹旋システム	基本(2訂)		かえり	backhaul service
化学的処理			かがく	
拡大生産者責任	基本(2訂)		かくだ EPR	extended producer responsibility
過剰包装	基本(2訂)		かじょ	over package
カスケード・リサイクル			かすけ	
ガソリン税			がそり	gasoline tax
片荷輸送	基本(2訂)		かたに	
家電リサイクル法	基本(2訂)、齋藤用語		かでん	
可燃ごみ			かねん	

通函	基本(2訂)		かよい		returnable container
から運搬	基本(2訂)		からう		empty handling
川崎公害訴訟		齋藤用語	かわさ		
環境アセスメント			かんき	環境影響評価法	envionmental assessment
環境会計	基本(2訂)		かんき		environmental accounting
環境会計ガイドライン			かんき		
環境格付け			かんき		environmental rating
環境確保条例			かんき		
環境基準	基本(2訂)、齋藤用語		かんき		
環境規制			かんき		
環境基本法		齋藤用語	かんき		Environmental Basic Law
環境効率性			かんき		eco-efficiency
環境コスト			かんき		environmental costs
環境コミュニケーション			かんき		environmental communication
環境税			かんき		environmental tax
環境責任			かんき		environmental responsibility
環境適合設計			かんき		design for environment
環境法			かんき		
環境報告書			かんき		envionmental report
環境報告書ガイドライン			かんき		envionmental report guideline
環境保全型経済	基本(2訂)		かんき		environmentally sound and sustainable economy
環境ラベリング	基本(2訂)		かんき		eco labelling
環境ロードプライシング		環境白書	かんき		
幹線共同運行	基本(2訂)		かんせ		
完全リサイクル			かんぜ		
かんばん方式	基本(2訂)		かんば		Kanban system
還流促進			かんり		
気候変動に関する政府間パネル		齋藤用語	きこう		
気候変動枠組条約		齋藤用語	きこう		
気候変動枠組み条約第三条締約国会議			きこう	COP3	
気候変動枠組み条約第六条締約国会議			きこう	COP6	
規制緩和	基本(2訂)		きせい		deregulation
逆工程	基本(2訂)		ぎゃく	インバースエンジニアリング	inverse engineering
求貨求車システム	基本(2訂)		きゅう		
共同化	基本(2訂)		きょう		
共同実施			きょう	JI	
共同倉庫	基本(2訂)		きょう		

共同納品代行	基本(2訂)	きょう		
共同配送	基本(2訂)	きょう		
京都議定書		きょう		kyoto Protocol
京都メカニズム		きょう		
業務用冷凍空調機器		環境白書 ぎょう		
くずプラスチック		くずぷ		
グリーン・コンシューマー	齋藤用語	ぐりー		green consumer
グリーン・マーケティング	基本(2訂)	ぐりー		green marketing
グリーン・ロジスティクス	基本(2訂)、齋藤用語	ぐりー		green logistics
グリーン開発メカニズム		ぐりー	CDM	
グリーン購入法		環境白書 ぐりー		Green Puechasing Law
ケミカル・リサイクル		けみか		chemical recycle
源流管理		げんり		
公害	齋藤用語	こうが		
公害関係法規	基本(2訂)	こうが		
公害対策基本法	基本(2訂)	こうが		
総合物流施策大綱	基本(2訂)	こうが		industria packaging
交通公害低減システム		環境白書 こうつ	EPMS	
個装	基本(2訂)	こそう		individual packaging
ごみ焼却炉		ごみし		
コラボレーション		こらぼ		colaboration
混載貨物	基本(2訂)	こんさ		consolidated cargo
混載業者	基本(2訂)	こんさ		consolidator
混載輸送	基本(2訂)	こんさ		consolidation
コンパクトシティ		環境白書 こんぱ		
サービス・サイジング		環境白書 さーび		
サーマル・リサイクル		環境白書 さーま		thermal recycle
最終処分場		さいし		
再生資源利用促進法		さいせ		
サブスタンダード船		環境白書 さぶす		
産業廃棄物		さんぎ		industrial waste
産業廃棄物税		さんぎ		industrial waste tax
事業系ごみ		じぎょ		commercial waste/business waste
資源有効利用促進法		しげん	改正リサイクル法	
自動車NOx・PM法		じどう		
自動車税のグリーン化		環境白書 じどう		
自動車リサイクル法		じどう		

社会的責任投資		しゃか	SRI	Socially Responsible Investment
修繕		しゅう		
修理		しゅう		
循環型社会	基本(2訂)	じゅん		
省エネ・リサイクル支援法		しょう		
省エネルギー		しょう		
焼却処分		しょう		
省資源		しょう		
消費者包装	基本(2訂)	しょう		consumer packaging
使用済みOA機器		しょう		
使用済み家電製品		しょう		
使用済み自動車		しょう	ELV	
使用済み複写機		しょう		
静脈物流		じょう		venous physical distribution
新交通管理システム		環境白書 しんこ		
新総合物流施策大綱	基本(2訂)	しんそ		
新品原料		しんぴ		
スパイクタイヤ粉じん対策		すばい		
スピードリミター		すぴー		
製造物責任法	基本(2訂)	せいぞ	PL法	product liability law
生分解性プラスチック	基本(2訂)	せいぶ		
ゼロエミッション		環境白書 ぜろえ	ごみゼロ作戦	zero emission
騒音規制		齋藤用語 そうお		
騒音規制法	基本(2訂)	そうお		
総合静脈物流拠点港		環境白書 そうご	リサイクルポート	
総合物流施策大綱	基本(2訂)	そうご		
ソーラーカー		そーら		solar car
速度リミッター		そくど		
粗大ゴミ		そだい		bulky waste
ダイオキシン対策		だいお		
大気汚染		齋藤用語 たいき		
大気汚染防止法	基本(2訂)、齋藤用語	たいき		Air Pollution Control Law
大深度地下利用	基本(2訂)	だいち		
大都市物流	基本(2訂)	だいと		
多品種少量多頻度物流	基本(2訂)	たひん		
炭素税	基本(2訂)、齋藤用語	たんそ		carbon taxes
段ボール	基本(2訂)	だんぼ		

段ボールリサイクル推進シンボル	基本(2訂)		だんぼ	
地下水汚染			ちかす	ground water contamination
地球温暖化	齋藤用語		ちきゅ	global warming
地球温暖化対策推進大綱	齋藤用語		ちきゅ	
地球温暖化防止京都会議	齋藤用語		ちきゅ	
窒素酸化物	齋藤用語		ちっそ	NOX
窒素酸化物抑制	基本(2訂)		ちっそ	nitrogen oxide
中古車オークション			ちゅう	中古車競売
中古車競売			ちゅうこ	中古車オークション
使い捨て容器	基本(2訂)		つかい	one-way container, non-returnable container
付替用製品		環境白書	つけか	
詰替用製品		環境白書	つめか	
ディーゼル車NO作戦	齋藤用語		でいー	
ディーゼル排気粒子(DEP)		環境白書	でいー	DEP
低公害車	基本辞(2訂)、齋藤用語、環境白	ていこ		Diesel Exhaust Particle
低燃費かつ低排出ガス認定車		環境白書	ていね	low pollution vehicle
テクノスーパーライナー	基本(2訂)		てくの	
電気自動車	齋藤用語		でんき	electric car
天然ガス自動車	齋藤用語		てんね	natural gas car
道路公害	齋藤用語		どうろ	
道路交通情報通行システム		環境白書	どうろ	VICS
道路交通騒音対策			どうろ	
土壌汚染			どしょ	soil pollution
土壌汚染防止法			どしょ	
トレーサビリティ			とれー	tracability
熱回収			ねつか	
燃料電池自動車	基本(2訂)		ねんり	FCEV
乗鞍環境保全法			のりく	
バージン原料			ばーじ	
パーゼル条約			ばーぜ	
パーゼル法			ばーぜ	
排ガス規制	齋藤用語		はいが	
排ガス浄化装置			はいが	
廃棄	基本(2訂)		はいき	
排気チャンバー		環境白書	はいき	
廃棄物	齋藤用語		はいき	
廃棄物処理/リサイクルガイドライン	基本(2訂)		はいき	

廃棄物処理法	基本(2訂)、齋藤用語	はいき		
廃棄物等の発生抑制		環境白書 はいき	リデュース	
排出量取引		はいし		emission trading
ハイブリッド自動車	齋藤用語、	環境白書 はいぶ		hybrid car
廃プラスチック		はいぷ	廃プラ	
廃プラ有効利用率		はいぷ		
発泡スチロール		はっぼ		polystyrene form
発泡プラスチック	基本(2訂)	はっぼ		
発泡ポリエチレンペーパー	基本(2訂)	はっぼ		
バラスト水問題		環境白書 ばらす		
光ビーコン		環境白書 ひかり		
微小粒子状物質	齋藤用語	環境白書 びじょ		
ファクター10		ふあくた		Factor 10
ファクター4		ふあくた		Factor 4
フード・マイレージ		環境白書 ふーど		
物流共同化	基本(2訂)	ぶつり		
物流公害	基本(2訂)	ぶつり		
不法投棄		ふほう		illegal dumping
浮遊粒子状物質	基本(2訂)、齋藤用語、	環境白書 ふゆう		SPM:suspended particulate matter
フロン類破壊施設		環境白書 ふろん		
プロダクト・ライフサイクル		ぷろだ	PLC	Product Life Cycle
分別収集		ぶんべ		
返品	基本(2訂)	へんぴ		returned goods
包装	基本(2訂)	ほうそ		packaging
包装廃棄物	基本(2訂)	ほうそ		packaging waste
ポートステートコントロール		環境白書 ぽーと		
マテリアルリサイクル		環境白書 までり		
マニフェスト	基本(2訂)	まにふ	産業廃棄物管理票	manifest
メタノール自動車	基本(2訂)、齋藤用語	めたの		
モーダルシフト	基本(2訂)	もーだ		modal shift
有害廃棄物の越境移動		ゆうが	バーゼル条約	
輸送	基本(2訂)	ゆそう		transportation
輸送包装	基本(2訂)	ゆそう		transport package, shipping packaging
容器包装リサイクル法	基本(2訂)、齋藤用語、	環境白書 ようき		
横持ち	基本(2訂)	よこも		
ライフサイクルアセスメント	基本(2訂)	環境白書 りあいふ	LCA	life cycle assessment, LCA
リサイクル	齋藤用語	りさい		

リサイクル法	基本(2訂)		りさい		
リサイクルポート		環境白書	りさい	総合静脈物流拠点港	
リサイクル率			りさい		recycling rate
リバースロジスティクス	基本(2訂)		りばー		revers logistics
リペア			りぺあ	修理	repair
リユース		齋藤用語	りゆうー		
リデュース		環境白書	れどぅ	廃棄物等の発生抑制	reduce
ロードプライシング			ろーど	環境ロードプライシング	
ローハス		環境白書	ろーは	グリーン・コンシューマ	Lifestyle Of Health And Sustainability
ワンウェイ容器	基本(2訂)		わんう		one - way container, non - returnable container

区分	タイトル	編者・筆者	発行年	出版社	備考	所有者
専門書外	アメリカ物流改革の構造	斉藤実	1999	白桃書房		津久井
専門書外	Supply Chain Logistics Management	Bowersox,Closs,Cooper	2002	McGraw-Hill		津久井
専門書外	Leading Edge Logistics,Competitive Positionin for the 1990s	D.J.Bowersox	1989	Council of Logistics Management	翻訳あり	津久井
専門書外	Logistical Management	D.J.Bowersox	1974			津久井
専門書外	Storategic Logistics Management	D.M.Lambert, J.R.Stock	1993			津久井
専門書外	Strategic Logistics Management	D.M.Lambert, J.R.Stock	1993			津久井
専門書外	Strategic Physical Distribution Management	D.M.Lambert, J.R.Stock	1982			津久井
専門書外	European Logistics(2nd)	J.Cooper, M.Browne, M.leters	1991			津久井
専門書外	Logistics Handbook	J.E.Robeson,W.C.Copacino	1993			識訪東
専門書外	Development and Implementation of Reverse Logistics Programs	J.R.Stock	1998	Council of Logistics Management	コピー	津久井
専門書外	Reverse Logistics	J.R.Stock	1992	Council of Logistics Management	コピー	津久井
専門書外	Reconfiguring European Logistics System	K.A.Laughlin,J.Cooper,E.Caboce	1994	Council of Logistics Management		
専門書外	Logistics and Supply Chain Management (2nd)	Martin Christopher	1998	FT PITMAN PUBLISHING	翻訳あり	津久井
専門書外	Basic Business Logistics(2nd)	R.H.Ballou	1987			津久井
専門書外	Reuse and Recycling - Reverse Logistics Opportunities	R.Kopicki他	1993	Council of Logistics Management	コピー	津久井
専門書内	×ロジスティクス・ネットワークシステム	中田信哉	2001	白桃書房		津久井
専門書内	×eビジネス時代のロジスティクス戦略	湯浅和夫編著	2000	日刊工業新聞社		津久井
専門書内	成功する共同物流	阿保栄司	1996	生産性出版		津久井
専門書内	先端ロジスティクスの基本がわかる できる	阿保栄司	1998	ビジネス社		
専門書内	サプライチェーン・コストダウン	阿保栄司・矢澤秀雄	2000	中央経済社		津久井
専門書内	ロジスティクスの基礎	阿保栄司編著	1998	税務経理協会		津久井
専門書内	日本のロジスティクス	忍田和良	2002	中央経済社		津久井
専門書内	これからの物流	斉藤実	1993	東洋経済新報社		津久井
専門書内	物流用語の意味がわかる辞典	斉藤実	2000	日本実業出版社		津久井
専門書内	自動車排ガス汚染とのたたかい	篠原義仁	2002	新日本出版社		津久井
専門書内	物流の最新常識	鈴木邦成	2001	日刊工業新聞社		
専門書内	図解 物流のしくみ	高橋昭博	1999	ナツメ社		津久井
専門書内	環境経営論の構築	長岡忠他6氏	2002	成文堂		津久井
専門書内	物流がわかる事典	中田信哉編著	1996	日本実業出版社		津久井
専門書内	物流ハンドブック	日通総合研究所	?	白桃書房?		
専門書内	基本ロジスティクス用語辞典	日本ロジスティクスシステム協	1997	白桃書房		津久井
専門書内	基本ロジスティクス用語辞典(第2版)	日本ロジスティクスシステム協	2002	白桃書房		識訪東
定刊論外	How Europe's Companies Position to Recycle	F. Cairncross	1992		(HBR)	
定刊論外	Environmentally responsible logistics systems	Haw - Jan Wu, Steven C.	1995		(JPDLM 25, no. 2)	
定刊論外	Logistics Shifts into Reverse	J. Barry, G. Girard, C. Perr	1993		J of European Business	
定刊論外	Developing Distribution Channels and Systems in the	J.P.Guitlian,N.G.Nwokoye	1995		(JPD 6,no.1)	
定刊論外	The Art of Reverse Logistics	L. Harrington	1995		Inbound Logistics 14	
定刊論外	Household Waste Collection as Reverse Channel:A Th	M. Jahre	1995		(JPDLM 25, no. 2)	
定刊論外	After Environmentalism:Three Approaches to Managing	M. Kellogg	1994		Regulation 70, No. 1	
定刊論外	Green Logistics:Comparative Views of Environmental Progressive...	P.R.Murphy,R.F.Poist,C.D.Braun	1996		(JBL)	
定刊論外	Management of Environmental Issues in Logistics:Curri	P. R. Murphy, R. F. Poist,	1994		Transportation Journal 34, no. 1	
定刊論外	Role and Relevance of Logistics to Corporate Environ	P. R. Murphy, R. F. Poist,	1995		(JPDLM 25, no. 2)	
定刊論外	Greening Organizations - 2000	P. Shrivastava, S. Hart	1994		IJ of Public Administration 17, no. 3 / 4	
定刊論外	Reverse Logistics in Plastics Recycling	T. L. Pohlen, M. T. Farris	1992		(JPDLM)	
定刊論外	Ethical Issues of Environmentally Friendly Packaging	V. Gray, J. Guthrie	1990		(JPDLM 20, no. 8)	
定刊論外	Strategic Examination of Reverse Logistics & Repair Service Requirement,Needs,Market Size and Op		1999		(JBL)	
定刊論外	Reverse Logistics:A review of the literature and framework for invest	C.R.Carter, L.M.Ellram	1998		(JBL)コピー、翻訳	津久井
定刊論外	Harvard Business Review					
定刊論外	International Journal of Pyhsical Distribution					
定刊論外	International Journal of Pyhsical Distribution and Logistics Management					
定刊論外	Journal of Business Logistics					
定刊論内	カーゴニュース	カーゴニュース		カーゴニュース		
定刊論内	カーゴニュース(最近2年分)	カーゴニュース		カーゴニュース		
定刊論内	日経エコロジャー	日経BP社		日経BP社		
定刊論内	季刊 輸送展望(No.1~?)	日通総合研究所		日通総合研究所		
定刊論内	日本物流学会誌(No.1~10)	日本物流学会		日本物流学会		
定刊論内	包装技術	日本包装技術協会		日本包装技術協会		
定刊論内	ロジスティクスシステム	日本ロジスティクスシステム協		日本ロジスティクスシステム協会		
定刊論内	一橋ビジネスレビュー	一橋大学イノベーション研究セ:		東洋経済新報社		
定刊論内	LOGI BIZ	ライノス パブリケーションズ		ライノス パブリケーションズ		
定刊論内	流通設計21(ロジスティクスジャーナル)	流通経済新聞社		流通経済新聞社		
定刊論内	マテリアルフロー	流通研究社		流通研究社	海外文献抄録シリーズ	
定刊論内	日本物流年鑑(各年度版)			ぎょうせい	1994年「物流と環境保全」	
定刊論内	ハーバードビジネスレビュー ダイヤモンド			ダイヤモンド社		
定刊論内	輸送展望(既刊バックナンバー)			日通総合研究所		
定刊論内	リサイクル文化			リサイクル文化社		
定刊論内	“循環型ロジスティクスの時代”の幕開け - 21世紀における倉庫業のあり方を探る	津久井英喜	2002	倉庫	119号、2002年No.1	津久井
定刊論内	環境適応型物流システムとしての共同物流	津久井英喜	1992		IE Review	津久井
定刊論内	グリーン・ロジスティクスへの挑戦	津久井英喜	1997		ENGINEERS, 8月号	津久井
定刊論内	循環型ロジスティクスとマニファクチャリング-リユースを促したゴミ処理型リサイクル	津久井英喜	2000	マテリアルフロー、2000年8月号		津久井
定刊論内	循環型ロジスティクスの形成とリマニファクチャリング	津久井英喜	2002	実践ロジスティクス研究	第4巻第7号	津久井
定刊論内	ロジスティクスの新しい役割 - 循環過程を完結させるもの -	津久井英喜	1997	季刊輸送展望		
定刊論内	リコーのリサイクル物流への取組み	徳勢正昭	1997	季刊輸送展望	1997年冬号、No.244	
定刊論内	貨物輸送とエネルギー問題	藤井健	1992	日通総合研究所	季刊輸送展望92夏	
定刊論内	自動車リサイクルへのトヨタの取組み	藤川勝久	1997	季刊輸送展望	1997冬号、No.244	
定刊論内	エコビジネスとリバースロジスティクス	妻田耕治	2000	ロジスティクスシステム		
環境専外	北欧のエネルギーデモクラシー	飯田哲也	2000	新評論		識訪東
環境専外	ドイツ企業の環境マネジメント戦略	林哲裕	2000	三修社		識訪東
環境専外	入門 環境経済学 環境問題解決へのアプローチ	日引聡、有村俊秀	2002	中央公論社		識訪東
環境専外	環境マネジメントによるコスト削減 - ドイツ100社	マクシミリアン・ゲーグ編	1999	白水社	原書はドイツ(1997)	識訪東
環境専内	さまよう廃棄パソコン	内田誠著	1999	岩波書店		
環境専内	物流共同化実践マニュアル	河西健次・津久井英喜監修	1996	日本能率協会マネジメントセンター		津久井
環境専内	トヨタ環境経営 セロエミッションへの挑戦	千葉三樹男	2001	かんき出版		
環境専内	豊かな環境を次の世代に	日本自動車工業会	2000	日本自動車工業会	「使用済み自動車への対応」	
環境専内	21世紀 車のリサイクルのすべて	広田民郎	2000	リサイクル文化社		
環境専内	環境ビッグ・ビジネス - 35兆円巨大産業 -	牧野昇	1998	PHP研究所		津久井
環境専内	リサイクルと環境	松藤敏彦・田中信壽	2000	三共出版		
環境専内	七万人が動きだしたこのひと言 - リコー...	峰如之介	2003	ワック		津久井
環境専内	リコーの環境価値マネジメント	峰如之介	2000	ダイヤモンド社		識訪東
環境専内	企業における環境マネジメント	吉澤正監修	1996	日科技連出版社		津久井
環境専内	IT汚染	吉田文和	2001	岩波書店		
環境専内	平成12年度版 日本の自動車工業		2000	日本自動車工業会	「リサイクルの促進と廃棄物の低減を目指して」	
環境専内	リサイクル産業計画総覧 2001年版		2000	産業タイムズ社		
環境専内	リサイクル産業計画総覧2001年版		2000	産業タイムズ社	「資源有効利用促進法指定製品等のリサイクル 自動車のリサイクル」	

環境論内	循環型社会構築ヘリユースを注目	南場智子	2002 読売新聞、7月13日		
環境論内	廃自動車問題の現状とそのリサイクルの取組み		1999 月刊廃棄物	1999年3月号	
白書官内	平成13年版 循環型社会白書	環境省編	2001 ぎょうせい		津久井
白書官内	平成14年版 環境白書	環境省編	2002 ぎょうせい		津久井
白書官内	平成14年版 循環型社会白書	環境省編	2002 ぎょうせい		津久井
報告官内	OECDレポート 日本の環境政策 成果と課題	OECD	1991 中央法規		津久井
報告官内	構造改革推進研究会 リサイクル(…) ワーキング・グループ報告書	経済企画庁総合計画局	1999 経済企画庁総合計画局		津久井
報告官内	経済審議会流通研究委員会報告書	経済審議会流通研究委員会	1972 経済企画庁		津久井
報告官内	使用済み自動車リサイクル・イニシアティブ(資料)	通商産業省			「これからの流通」日経通商産業省
報告官内	今後のわが国の廃棄物処理	通商産業省環境立地局編	1994 産業調査会		
報告官内	資源の有効な利用の促進に関する法律に基づくパーソナルコンピュータの3R推進のための方策について	通商産業省環境立地局編	2000		厚生省(内部資料)
報告官内	リパースロジスティクスの現状に伴う流通効率化に関する調査研究	流通経済研究所	1998 通商産業省(委託)		津久井
報告官内	中古部品の品質基準などの業界標準化に関する調査検討委員会中間報告書	通商産業省	2001 通商産業省		津久井
報告官内	自動車リサイクル部品活用促進調査報告書	富士総合研究所	2001 通商産業省(委託)		津久井
法律官内	循環型社会形成推進基本法の解説	循環型社会法制研究会編	2,000 ぎょうせい		諏訪東
協会資料	中古・リビルト部品の使用実態調査	全国自動車部品販売店連合会	2001 全国自動車部品販売店連合会		津久井
協会資料	環境・廃棄物問題資料集 廃棄自動車処理とリサイクルへの対応	全国純正品販売店協会	1997 全国純正品販売店協会		津久井
協会資料	中古・再生部品市場の概要	全国純正品販売店協会	1999 全国純正品販売店協会		津久井
協会資料	補修用自動車部品 対日アクセス実態調査報告書	日本貿易振興会	2002 日本貿易振興会		津久井
協会資料	運輸部門 環境年次報告書 - 環境にやさしい交通の創造 -				交通エコロジー・モビリティ財団
協会報内	ガラスびんの日本酒組合中央会による動向調査	ガラスびんリサイクル促進協議	2000 ガラスびんリサイクル促進協議会		津久井
協会報内	循環型社会実行元年 法制度と3Rの動向	クリーン・ジャパン・センター	2000 クリーン・ジャパン・センター		津久井
協会報内	リターナブルびんの社会的定着をめざす業界ビジョンおよび実現方策	全国びん商連合会	2000 全国びん商連合会		津久井
協会報内	エコドライブ 推進マニュアル	全日本トラック協会	2001 全日本トラック協会		津久井
協会報内	環境基本行動計画 推進マニュアル	全日本トラック協会	2001 全日本トラック協会		津久井
協会報内	環境基本行動計画策定調査報告書 - 社会との…	全日本トラック協会	2001 全日本トラック協会		津久井
協会報内	リサイクル物流の動向とトラック運送事業 報告書	全日本トラック協会	2,000 全日本トラック協会		津久井
協会報内	使用済みコンピュータの回収・処理・リサイクルの状況に関する調査報告書	電子情報技術産業協会	2001 電子情報技術産業協会		津久井
協会報内	使用済みコンピュータの回収・リユース・リサイクルの状況に関する…	電子情報技術産業協会	2001 電子情報技術産業協会		津久井
協会報内	中古自動車リサイクルセンター 事業の概要	長野県中古自動車リサイクルセンター			津久井
協会報内	第2回 日米自動車リサイクル部品シンポジウム(配布資料)	日本自動車リサイクル部品販売店協会	2000 日本自動車リサイクル部品販売店協会	2000年1月	
協会報内	日本物流学会全国大会予稿集(No.1~19)	日本物流学会			津久井
協会報内	1999年度環境調和型物流システム構築に関する調査報告書	日本ロジスティクスシステム協会	2000 日本ロジスティクスシステム協会		津久井
協会報内	2000年度環境調和型物流システム構築に関する調査報告書	日本ロジスティクスシステム協会	2001 日本ロジスティクスシステム協会		津久井
協会報内	ロジスティクス全国会議(資料(各年、各地))	日本ロジスティクスシステム協会			津久井
協会報内	ロジスティクスにおける環境問題研究報告書	日本ロジスティクスシステム協会	1998 日本ロジスティクスシステム協会		津久井
環境資料	環境問題関係資料集()	日本通運	1997 日本通運		津久井
環境報内	佐川急便 環境報告書2,000~2001	佐川急便	2001 佐川急便		津久井
環境報内	セイコーエプソン 環境報告書1999	セイコーエプソン	1999 セイコーエプソン		津久井
環境報内	セイコーエプソン 環境報告書2000	セイコーエプソン	2000 セイコーエプソン		津久井
環境報内	セイコーエプソン 環境報告書2001	セイコーエプソン	2001 セイコーエプソン		津久井
環境報内	第9回シンポジウム廃棄物革命・2001(基調講演)	津久井英喜	2001 ハチオウ		津久井
環境報内	トヨタ自動車 環境報告書1999	トヨタ自動車	1999 トヨタ自動車		津久井
環境報内	トヨタ自動車 環境報告書2000	トヨタ自動車	2000 トヨタ自動車		津久井
環境報内	トヨタ自動車 環境報告書2001	トヨタ自動車	2001 トヨタ自動車		津久井
環境報内	トヨタ自動車 環境報告書2002	トヨタ自動車	2002 トヨタ自動車		津久井
環境報内	トヨタ自動車工場データ 環境報告書2002別冊	トヨタ自動車	2002 トヨタ自動車		津久井
環境報内	使用済み自動車の適正処理の手引き	日産自動車			津久井
環境報内	IBM環境・ウェルビーイング・プログレス・レポート2001	日本アイ・ピー・エム	2001 日本アイ・ピー・エム		津久井
環境報内	日本通運 環境報告書2000	日本通運	2000 日本通運		津久井
環境報内	NEC環境アニュアルレポート1999	日本電気	1999 日本電気		津久井
環境報内	NEC環境アニュアルレポート2000	日本電気	2000 日本電気		津久井
環境報内	NEC環境アニュアルレポート2001	日本電気	2001 日本電気		津久井
環境報内	車の解体マニュアル	三菱自動車	1996 三菱自動車		津久井
環境報内	リコーグループ 社会環境報告書2001	リコー	2001 リコー		津久井
生産書外	Remanufacturing:The Ultimate From of Recycling	Rolf Sternhilper	1998 Fraunhofer IRB Verlag		翻訳あり
生産書内	インパース・マニファクチャリング	梅田靖編著	1998 工業調査会		津久井
生産書内	ライフサイクルデザインのための分解性工学	山際康之	1997 工業調査会		津久井
生産書内	リサイクルを助ける製品設計入門 分解まで考えたモノづくり	山際康之	1999 講談社		津久井
生産書内	逆工場	吉川弘之	1999 日刊工業新聞社		津久井
その他内	会社案内(信越電装)	信越電装			津久井
その他内	家電リサイクル法1年/回収進んでも増えた投票		2002 読売新聞、3月18日		
その他内	国交省、自動車部品のリサイクル促進で再生品の定義定める		2002 日本工業新聞、5月27日		
その他内	伸び悩む自動車リサイクル部品販売/在庫率の低さに加え販社や部品の理解不足が原因		2002 日刊自動車新聞		
その他内	リサイクル部品市場/在庫ヒット率35%前後		2002 日刊自動車新聞		

